

## ■コンクリートが担う東北の復興と発展／第305回コンクリートセミナー(仙台市)開催

12月4日、セメント協会はホテル法華クラブ仙台(仙台市青葉区)で「第305回コンクリートセミナー」を開催した。当日は、東北各県から官公庁・建設業・生コン・コンサルタントなど220名が参集し満員の会場となった。

テーマは「コンクリートが担う東北の復興と発展」で講演および講師陣は表のとおり。

主な内容は、①では東日本大震災以降の東北の復興の進捗および課題とその対策がどのように行われて来たかを時系列で整理・説明、本セミナーの講師陣がそのなかでどの部分について講演されるかを紹介。②では、東日本大震災からの復興プロジェクトである復興道路の建設に導入されたコンクリート構造物の高耐久化の取り組みについて、講師自ら撮影した写真を多用して紹介。③ではコンクリート構造物の耐久性にとって厳しい環境にある東北地方におけるコンクリート構造物の現状とこれを改善するためのさまざまな取り組みについて紹介するとともに、地域住民との協働による新たなインフラ整備のあり方について解説。④では、津波の被害が少なかっ



たピロティー様式の建築構造の有用性を解説するとともに、引張力が作用しても簡単には破壊することのない、あるいはひび割れが自然の力で治癒されるようなコンクリートの開発例を紹介。⑤では、福島第一原子力発電所での事故が由来の放射性Cs(セシウム)が濃縮された可燃性廃棄物焼却飛灰の処分方法として考えられるコンクリートピットに対するコンクリートの耐久性設計方法を解説。⑥では秋田県で進められている、もみ殻焼却灰のコンクリートへの有効利用を例に、地産地消をキーワードとした資源循環に配慮したコンクリートの性能の高度化について、その現状と展望を紹介した。

なお、当日のテキストは一部2000円+税(送料別)で当協会の図書販売(FAX03-5200-5062)で販売中。



久田氏



佐藤氏



岩城氏



三橋氏



山田氏



徳重氏

タイトル	講演者(敬称略)
①[プロローグ]東北の復興と発展～コンクリートにできること～	東北大学大学院工学研究科教授・久田 真
②復興道路等におけるコンクリート構造物の高耐久化の取り組み	国土交通省東北地方整備局 南三陸国道事務所所長・佐藤和徳
③東北発 コンクリート構造物の長寿命化を目指して	日本大学工学部土木工学科教授・岩城一郎
④固いコンクリートにはやわらかい頭で挑戦	東北大学名誉教授、(公社)日本コンクリート工学会会長・三橋博三
⑤放射性物質で汚染された廃棄物処分へのコンクリート技術の活用	国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター主任研究員・山田一夫
⑥地産地消と資源循環によるコンクリートの高品質化	秋田大学大学院工学資源学研究科教授・徳重英信